

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・異常な猛暑のために、ドリンク、アイス、氷等が非常に多く売れている。また、来客数も1.5倍ぐらいに増えたため、良くなっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・暑いので、一時的に売れているだけではないか。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・数か月前と比べると、猛暑が続いているお陰で、コンビニにとっては非常に追い風となっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・暑さのせいもあり、前年より売上はプラスで推移している。特に、ジュース、アイス等の夏物商材が前年を大きく超えている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・猛暑となり、季節商材の動きが前年比180%と好調に推移している。冷蔵庫の動きも同150%で動いている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新車の売行きはここ何か月も良くないが、来客数が増えて中古車の販売が増えている。また、車検、一般整備、板金塗装等の修理関係の客が増加しており、中古車と修理の販売がぐんと増えて良くなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・7月に入って、車の販売がやや伸びてきている。来客数も多少増えている。人や車の動きも若干活発になっている。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・受託業者の変更に伴うものが多いものの、新規案件は増加している。人材確保の見通しがつけば、入札へエントリーすることは可能である。
		都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・各業界ともボーナスが出て、当ホテルも期待していたが、今一つ伸び悩んでいる。今後は、夏のプラン等の充実を図り、客の獲得に向けて取り組んでいきたい。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・客の来店頻度が多いように感じる。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・高額契約が増えている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・例年に比べて好天が続き、キャンセルは少なく来場者も増加している。当ゴルフ場は高原に位置し、猛暑日でも5度ほど低い気温で、プレーに支障がないことも増加の要因である。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・今月は依頼件数が多少あったので、やや良くなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・夏のクリアランスセール開始後も、アパレルは依然として苦戦している。また、お中元ギフトも前年割れの結果に終わっている。好調に推移してきた化粧品品の動きも鈍く、苦戦を強いられている。
		百貨店（副店長）	来客数の動き	・前年秋の改装以降、来店客は約30%増えており、安定している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・今年に入ってからずっと、売上、来客数共に前年を上回っている。特に、食品は安定して好調である。今年の猛暑で、衣料品の売上が良くないことが、少し気になる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は猛暑が続き、アイスクリーム、ドリンク等が例年以上に多く売れたところが大きな違いである。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・7月に入って梅雨が明ける頃までは、多少、入出が良く、幾らか回復傾向にあるというイメージでいたが、梅雨が明けた途端、猛暑となっている。これが大きく影響して、客足が激減している。異常気象と言われているなかで、かなりの部分を年金生活者が占める当店の客層を考えると仕方ないと思うが、ダメージはかなり大きい。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・この2～3か月は、販売の中心が軽自動車で、台数は微増だが売上は減少である。また、整備などの売上や車検台数も微減で、対策を考えている状況である。
		住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・酷暑に伴い来客数が増えて、夏物中心に売上は増加している。季節要因による来客増が売上につながっているだけで、好況感を感じない。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量は変わらず推移しているが、受注量はやや減少傾向である。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数の前年割れが年末から続いている。今月については酷暑が原因かもしれない。	

	スナック（経営者）	来客数の動き	・平日の客が減っている。週末の金～土曜は増えてきている。また、領収証発行を希望する客が少しは増えてきているが、個人客はやや減少してきている。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比べると、稼働率的には4月の方が良かったが、平年に比べて今の時期としては多少、稼働率が良い状態は維持しているため、変わらない。
	都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・夏休み前のこの時期は、例年停滞傾向にある。後半は団体予約が多く入っており、売上の的には問題ないと見込んでいる。
	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・9月以降の申込みがまだ少ないので、変わらない。
	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・6月までの destinations キャンペーンが終了し、夏季繁忙期に入ったものの、猛暑の影響か人の動きが鈍化しているようである。
	タクシー運転手	お客様の様子	・暑さのせいで、ふだん歩いていく人がタクシーを利用するため、1割ほど売上が伸びている。だからと言って景気が良くなったとは思えない。深夜の利用客は相変わらず少ない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・戸建て住宅販売数などに特段変わりがない。
	通信会社（局長）	お客様の様子	・夏祭り等で一時的に街に活気はあるが、根本的には変わっていない。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・連日、異常な猛暑で、屋外の活動を控えるようにといった報道もあり、外出を控える様子がみられる。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、それほど変化がみられない。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・数年続く景気の低迷は、今月に入っても回復の兆しはなく、来客数、客単価共に前年割れしている。今夏の社員のボーナスも前年割れである。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業者との会合等に出席した際の様子や話の内容からして、変わらないようである。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の影響か、その準備で見込客が動き出したようである。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・飲食店の出店についての問合せや引き合いはあるものの、事務所等はまるでない。相変わらず、街中の貸店舗、貸事務所は空室が続いている。土地もよほど安い土地でなければ、問合せや引き合いは全くない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・異常気象が続き、街に人影もなく、客に高齢者の多い店の店内はまばらで、ボーナスの影響も全くない。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は連日の猛暑で、皆外出もままならない。ニュースでも熱中症の話題が続いている。平成30年7月豪雨災害の影響もあり、野菜を始め、当店で扱う肉類も値上がりをしたままで、客はやりくりが大変である。とにかく暑いので人は出ていない。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・台風は当地には来なかったが、いろいろなことを考えると、余り販売量は動かないようである。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・連日の酷暑で来客数が減っている。飲料などの一部商品群は好調だが、全体としては来客数減少の影響が大きく、売上減につながっている。衣料品は夏物セールが前月末に前倒しになったため、今月は苦戦している。トータルではやや悪化している。
	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・今月に入り、来客数は前年並みまで戻りつつあるが、客単価の落ち込みが大きく、売上はやや悪くなっている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・競合店の動きから、やや悪い。
	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	お客様の様子	・最近の熱中症報道により客の来店が非常に悪い。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・暑い日が続いているので、来客数は少しずつ減少している。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今年は特に暑いせいか、人が外に出ていない。前月よりも大幅に来客数が減少している。来店しても店内で涼んでいるのか、滞在時間が長く、回転率は悪い。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・月初から全体的に動きが悪く、前年同月と比べて、14%の減少である。
	タクシー（役員）	お客様の様子	・人材不足のため、やや悪くなっている。
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・3か月前と比べ、前年同月比で落ち込みが激しい。

	ゴルフ練習場 (経営者)	来客数の動き	・7月は暑い日が続き、来店客が激減している。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・猛暑のせいで日中外出をする人がいない。当店は従業員との約束で、勤務時間を9時から18時までと決めており、その決まりを忠実に守っている。そのためか、売上が下がっている。今年はばん回できる条件が見当たらない。勤務時間の変更でもしなければ、客を待つ業種は苦戦せざるを得ない。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・例年なら忙しいこの時期、記録的な猛暑の影響で、日中は客が外出を控えている。働き方改革については、企業幹部は役所に対して就業時間を減らす努力をうたいつつも、実質は見て見ぬふりで残業を課している、などと否定的な意見が多い。
	x 通信会社(経営者)	販売量の動き	・依然として、販売量に伸びはみられない。
企業 動向 関連 (北関東)	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・当社の主力の3部門は、前年度に比べて、10~15%増加している。ただし、太陽光発電事業は、自社所有の建設材料以外の全てで、仕入購入品価格の値上げが続いている。自社完成品直売装置のため、売上比率としては少ない。
	窯業・土石製品 製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・この時期には珍しく、忙しく稼働している。
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べて、ここ3か月は毎月10%以上の売上の伸びである。今後もずっとこの調子でいくという予測である。
	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・取引先の様子からみても、受注量や受注価格がやや良くなっている企業もある。
	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの北米向け販売が79か月連続で前年を超えており、カナダ向けも25か月連続で前年超えとなっている。
	建設業(開発担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている建設業である。現政権誕生後、公共工事は順調に推移しており、業界は大変感謝している。前政権時はスローガンが、コンクリートから人へであり、建設業界は大変苦勞していた。公共工事は前年比9%増と今のところ順調であり大変有り難い。当社も受注額が前年比5%増であり、今のところ安心である。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・市のLRT建設に伴う工事の発注量が思ったより多く、受注が増えている。
	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・連日の猛暑により、エアコン、扇風機の夏物家電、並びに、水やお茶、スポーツ飲料等の飲料類の輸送依頼が前年の3割増しである。しかし、平成30年7月豪雨災害による九州、中国、近畿地方への救援物資車両が優先となっているため、車両不足が発生し、用車費も上がっている。現状、依頼に対して車両不足で、出荷先の残荷が発生している。
	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量共に増加傾向にある。
	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・3か月前と受注量は変わらない。ただし、新規の引き合いがある。
	一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・油圧建機や自動車試作の関連を中心に、受注残を多く抱えており、一部の部署で24時間態勢で納期対応しているものの、生産能力が不足している状況である。
	社会保険労務士	取引先の様子	・例年よりも早く梅雨が明け、大型施設はにぎわっているが涼みに来ている人も多く、入出の割に売上は余り変わらないようである。
	不動産業(経営者)	それ以外	・以前より既存物件の空室が増加している。
	不動産業(管理担当)	受注価格や販売価格の動き	・雨や猛暑のため保守作業が延期になってしまったり、労災発生などで予定外の時間外労働が増加したため、人件費が増加している。売上は横ばいのため減益となっている。
	広告代理店(営業担当)	それ以外	・駅ビルの居酒屋は、どの店も比較的混雑していたが、ここ最近は静かになっている。2次会で立ち寄るスナック街の人通りもかなり少ない。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・余り変わらないとも思うが、やはり、少し落ちているとの判断の方が良いかもしれない。

	x	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月から、メインの取引先主力製品の電話機生産量に陰りが見られる。
雇用 関連		職業安定所（職員）	求人数の動き	・来所する会社から人手不足で求人するとの話を受けることが多い。
(北関東)		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・夏物衣料、食料品等のいわゆるお中元商戦に向けた動きは良かったようである。配送関係の募集も比較的、活発さを見せている。ただ、野菜価格、灯油等の値上がり等もあり、購買意欲は幾分抑え気味のようである。増改築等の住宅、店舗等の動きもある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・引き続き、求人倍率は高水準で推移している。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・夏季のため求人は多くなっているが、例年並みである。ボーナスをもらっての退職が進むと予測していたが、例年並みである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数を前年同月や直近の3か月で見ても、ほぼ変わらない。募集の理由は、定年退職者等による欠員補充や、製造業では業務増による増員、残業を減らすため等の理由によるものもあるが、介護職など常に不足している事業所からの求人も多い。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・6月公表分の全国の求人倍率1.6倍に対して、栃木県は1.44倍と全国30位である。県内トップの市でも全国を下回る1.49倍の状況である。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・最近、仕事が少し下火になっており、求人が少なくなっている。当社も2～3か月前と比べて30人くらい減っている。
	x	-	-	-